

HEADLINE



9月4日(土)、堺市のウエスティ(西文化会館)ホールにて、社会医療研究所所長・岡田玲一郎先生の特別講演会が開催されました。テーマは「自分らしく生き、自分らしく死ぬ。そのための『作法』とは」。当日は厳しい暑さにも関わらず、500名を超える地域の方々にお越しいただきました。開演は、午後二時。社会医療法人ペガサスの理事長 馬場武彦が、堺市の救急医療の現状と、今後の地域医療のあり方へのメッセージを、ご挨拶としてお届けしました。それに続いて、いよいよ岡田先生



社会医療研究所 所長 岡田玲一郎先生
さまざまな医療問題の解決に取り組む社会医療研究所所長。医療従事者や一般市民に対して長年、研修や啓蒙活動に取り組み、あるべき医療の姿を示し続けている。



9月28日(火)、社会医療法人ペガサスは馬場記念病院を中心に交通安全運動を行いました。これは秋の全国交通安全運動の一環で、高齢者が交通事故の被害者になるケースが年々増えていることから、多くのお年寄りが集まる病院やその周辺で「交通事故」への注意を呼びかけるものです。具体的な活動内容としては、馬場記念病院1階正面ロビー及び病院周辺道路にて、交通安全運動のチラシを来院される患者さまやご家族・関係者の方々に手渡し、交通安全について関心を持っていただけよう訴えました。

このような交通安全運動について、社会医療法人ペガサスではできる限り、大阪府西堺警察署 交通課の要請に応じて啓発活動に協力しています。今までも、春・秋の交通安全運動期間中には、馬場記念病院1階ロビーを交通安全運動を理解していただく場として提供してきました。さらに今回の安全運動では、初めて職員が参加。ペガサス事務系の新入職員6名が交通安全のたすきを掛けて活動しました。それによって、参加職員はもとより他の職員も交通安全に対する意識を高めることができたのは、大きな成果でした。

交通安全の視点から見ると、病院周辺は自転車の通行量が多く、時には危ない瞬間もあります。自転車を利用される方は高齢者など歩行者に優しい走行をお願いします。また、歩行者の方も身の周りの安全を確かめ、一人一人の力で交通事故を減らしていきましょう。

医療の視点から、人と社会のあり方を問う 岡田玲一郎先生講演会。

Report *1

自分らしい生老病死。
そのための「作法」を、
多くの人とともに考えました。

高齢者の事故防止を 呼びかけ チラシを配布。

Report *2

秋の交通安全運動を
患者さま、地域の皆様に向けて
行いました。

一人一人が 交通事故に注意して 行動を。

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成22年11月1日現在

	診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土
馬場記念病院	午前診 9:00~ 受付 8:30~12:00	内科 循環器科	1診 山下 啓 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	平田明子 (内科)	坂本常守 (循環器)	田口晴之/島田健永 第1・3・5週/第2・4週 (ともに循環器)
			2診 平山道彦 (循環器)	田中秀典 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	棚野吉弘 (呼吸器)		若山公作/棚野吉弘 第2・4・5週/第1・3週 (ともに呼吸器)
		外科 消化器科	外・消1診 金原 功	坂下克也	渋谷雅常	金原 功	寺岡 均	大平 豪 第1・3週
			外・消2診 原 順一	寺岡 均	真下勝行	渋谷雅常	平田直人	大平雅一 第2・4・5週
			外・消3診	河内屋友宏		原 順一		北田拓也 (肝臓病)
		脳神経 外科	脳外科1診 宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			脳外科2診 徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	長岡慎太郎	伊飼美明	
			脳外科3診 藤本基秋	甲斐康稔	藤本基秋	松尾吉紘	甲斐康稔	
			脳外科4診 長岡慎太郎					
		(脳)神経 内科	(脳)神経内科1診 高橋光雄	北口正孝	峯田春之	北口正孝	平賀定一	濱田征宏
			(脳)神経内科2診 中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進/平賀定一 第1・3週/第2・4・5週	長谷川隆典	
		整形外科	整形外科1診 本田良宣	山北真也	三木慎也	本田良宣	山北真也	交替制
馬場病院	午後診 14:00~ 受付 13:00~15:00 は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。		整形外科2診 篠塚宗徹	岡垣健太郎	篠塚宗徹	山田敏行	岡垣健太郎	岡田充弘 第1・3週
			整形外科3診 吉田 映	10時まで 山本 研 手の外来(予約のみ) 10時から 山田敏行		吉田 映	三木慎也	庄司恭之 第1または、第3週(背椎)
		形成外科	山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英/矢野 基 交替制
		内科				坂本常守 (循環器)		
						玉垣芳則 (在宅酸素)		
		(脳)神経内科		北口正孝		北口正孝		
				池尻義隆/松本亜希 第2週/第1・3・4・5週 (ともに認知症外来)		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)		
		整形外科		岡垣健太郎(関節の外来) 装具外来(14:00~14:30)			装具外来 (14:00~14:30)	
		泌尿器科		野澤昌弘		清水信貴(予約検査) 梅川 徹(診察のみ)	辻 秀憲	
ペガサスクリニック	午前診 9:00~12:00 受付8:30~12:00	内科外来	久保俊彰	宇治義正	新田敦範 (外科)		千本裕子 (脳神経内科)	新田敦範
	午後診 15:00~18:00 受付14:30~18:00	外科外来	担当医(脳神経外科) 新田敦範(外科)	本田良宣 (整形外科)	担当医(脳神経外科) 新田敦範(外科)	山本喜英	北口正孝 (脳神経内科)	
ペガサスクリニック	午前診 9:00~12:00 受付8:30~12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 第1・3・5週 矢野 基 第2・4週
		2診	宇治義正	担当医	宇治義正	宇治義正	宇治義正	岡本隆司 第1・3週 田中秀典 第2・4・5週
		3診		宇治義正				
	夜診 18:00~19:00 受付17:30~19:00	1診	永田安德	担当医	宇治義正	宇治義正	担当医	
ペガサスクリニック	午前診 9:00~12:00 受付8:30~12:00	2診	担当医	矢野 基	担当医	担当医	永田安德	
	午後診		中林孝之	峯田春之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之
ペガサスクリニック	午後診		往診	往診	往診	往診	往診	

馬場記念病院からのお知らせ

「最近、物忘れが気になって…」という方、
もの忘れドッグの受診をおすすめします。

歳をとってくると「最近、物忘れが増えてきたな」と感じる方が多いのではないのでしょうか。“物忘れイコール認知症”と単純に結び付けてしまいがちですが、実は、物忘れにはさまざまな原因があるのです。代表的なものを挙げると、認知症のほかに、加齢、脳外科疾患、うつ病、また、薬によるものなどがあります。このほかにも、さまざまな原因がありますが、これらは、専門的な診察や検査を行うことで、原因を特定することができます。原因に応じて、服用する薬やトレーニング方法などの治療内容が変わりますので、自己判断は危険です。的確な処置を施すことによって、症状の進行を遅らせたり、改善がみられることがあります。

当院の「もの忘れドッグ」は、脳神経外科の専門医である院長の診察をはじめとして、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床心理士などの経験豊富なスタッフの検査や、高度な医療機器の導入など、万全の体制を整えています。物忘れには、何よりも、早期発見、早期治療が大切です。気になる方は、ぜひ一度、当院の「もの忘れドッグ」の受診をおすすめします。

もの忘れドッグ検査内容

診察：脳神経外科（院長）
画像診断：頭部MRI・MRA、
脳血流シンチ（スペクト検査）
神経心理検査：臨床心理士
精神健康調査：問診表
料金：84,000円（税込）

ロイヤルリゾート石津

からのお知らせ

「訪問理容」で整髪とおしゃべり、両方楽しんでます。

高齢者専用賃貸住宅ペガサスロイヤルリゾート石津では、毎月第3火曜日に『訪問理容』を実施しています。集会室を美容室にして、髭剃り、カット、パーマ、カラーなど、ご要望を聞く美容師さんが整髪します。

毎回好評で、多くの方が利用されますが、美容師さんとのお喋りも人気の理由の一つ。ペガサスロイヤルリゾート石津では、このほかにもさまざまな催しや行事を予定しています。



11月のペガサスセミナーは、

手術で治る認知症

講師：伊飼美明 馬場記念病院 脳神経外科 医師

日時：11月30日（火） 午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階 ロビー

法人本部からお伝えしたいことがあります。

第6回 日米ジョイントフォーラムを開催します。

2010年11月6日（土）、大阪市・梅田毎日インテシオ4階にて、「第6回日米ジョイントフォーラムin大阪」（社会医療研究所主催、社会医療法人ペガサス・医療法人永広会・ヘルスケア経営研究所共催）を開催します。社会医療研究所所長 岡田玲一郎先生のご尽力により、アメリカから医師、医療ディレクター、弁護士の3名をお招きし、「多職種連携時代における専門職種への伝え方」をテーマに、医療人としての役割行動や行動規範について講演していただきます。

お問い合わせ 社会医療法人ペガサス **TEL** 072-263-0630

「リハビリテーション部就職説明会」と「ペガサス医療体験デイ就活バージョン！」同日開催！

「ペガサスで、看護師やリハビリテーションスタッフとして働いてみたい」という方のために、11月20日に説明会を開催します。10時からの「リハビリテーション部就職説明会」は、理学・作業療法士、言語聴覚士の方であれば、新卒（卒業見込み）・既卒問わず参加できます。12時からの「ペガサス医療体験デイ就活バージョン！」は、来春卒業予定の看護学生が対象です。当日は、各部の体制や教育プログラム、ペガサスの各種制度などをご紹介。また「ペガサス医療体験デイ就活バージョン！」では、病棟体験見学や看護師寮見学、先輩看護師とのティーパーティも予定しています。参加希望の方は、事前にお申し込みください。

お問い合わせ・開催日

日時 11月20日（土）

「リハビリテーション部就職説明会」受付 9:30／開始 10:00／終了 12:00

TEL 072-265-9196（リハビリテーション部直通）

「医療体験デイ 就活バージョン！」受付 12:30／開始 13:00／終了 17:00

TEL 072-265-9089（人事課直通）

都合により、開始・終了時間が変更になる場合がございます。

看護師
求人サイト



堺市の認可保育園申し込みが始まります。

堺市の2011年度認可保育園申し込みが、11月1日（月）～11月19日（金）に西区役所地域福祉課で行われます。社会医療法人ペガサスが、地域福祉の向上に貢献するために新設する、「社会福祉法人風の馬ペガサス保育園」も対象となります。ペガサス保育園の開園は、来春4月1日です。

ご存じですか！

ペガサス脳卒中センター・ペガサス消化器センター

馬場記念病院では、医師とコメディカルがチームを組むのはもちろん、必要に応じては、外科系と内科系の診療科がチームを組み、専門治療の提供を行っています。

S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
12

循環器科

高度なチーム医療と最新治療技術、
そして患者さまとのコミュニケーション
を重視した、満足の行く医療を提供。

血管内カテーテル
検査・治療を専門に
行っています

当科では、心臓や、心血管に関わる病気の内科的診断・治療を行っています。なかでも虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）や、不整脈における血管内カテーテル検査・治療を専門とし、24時間365日体制で救急医療にも迅速に対応しています。

最新鋭の心血管撮影
装置を導入しました

カテーテル検査とは、特殊な細

い管を手首や大腿部の動脈から挿入し、造影剤を使用して、心臓の周囲を走る冠動脈の状態を評価する検査です。当院ではこれまでに、心臓カテーテル検査や、ステント治療をはじめとするさまざまな血管内カテーテル治療を行い、既に多くの治療実績を積んできました。さらに、当院では、より迅速に、的確な検査・治療を患者さまに提供したいという考えから、最新鋭の心血管撮影装置を導入し、2010年4月1日より稼働させています。

患者さまに負担の少ない
治療・検査が可能に

最新鋭の心血管撮影装置は、これまでの装置よりも画像の解像度が向上し、また2方向からの同時撮影が可能です。これにより検査時間が短縮し、X線の被ばく量の減少や、少ない造影剤使用量で、患者さまの負担を軽減しつつ、血管性状をこれまで以上に詳細に評価することが出来るようになりました。また、不整脈解析装置や心筋に刺激を加える刺激装置も同時に導入したことで、頻拍性不整脈の治療に、根治療法（カテーテルアブレーション）を施行することができるようになりました。

高度なチーム医療で
迅速に的確な
医療を提供



最新鋭の心血管撮影装置導入後の血管内カテーテル治療件数は、月間15件から20件と増加傾向にあります。また手術時間も短縮しております。この結果は、最新鋭の血管撮影装置の導入だけではなく、看護師、診療放射線技師、そして臨床検査技師、臨床工学技士との強固なチームワークによる、正確な検査の進行や手技のフォローなど、強力なサポートがあつてこそのもです。循環器系の病気の場合、一分一秒を争うことが多く、処置が早ければ早い程、手術の成功率は上がります。そのためには、医師と看護師、医療技術スタッフとの密な連携による迅速、かつ的確な処置が非常に重要となつてきます。私たちは迅速で的確な医療を提供するため、各専門スタッフが医師による指示だけで動くのではなく、

完治は、
患者さまの不安要素を
取り除いてこそ

各スタッフの専門性に積極的に委ねることが出来る、強固なチーム医療体制をめざして、一人ひとりが知識、技術の向上のため日々研鑽を積んでいます。今後も、チーム医療による最高の治療が提供できるよう、各専門スタッフの教育に力を注ぎ個々のレベルアップに努めてまいります。

診療の場とは別に、患者さまとコミュニケーションを図ることのできる機会を設け、私たち医療スタッフと患者さま、そのご家族との間により親密な信頼関係を築き、病気や生活への不安を解消することができればとも考えています。今後も更なる強固なチーム医療を基に、最新の治療知識・技術を駆使し、迅速で的確な処置を行い、患者さまに安全、確実な治療を提供して行きます。

馬場記念病院
循環器科

部長 山下 啓

平成22年4月～9月分 循環器科症例件数	
心臓カテーテル検査	210件
経皮的冠動脈形成術	57件
血管内超音波検査	22件
下肢動脈形成術	3件
電気生理学検査	5件
カテーテルアブレーション	発作性上室頻拍 2件
カテーテルアブレーション	心房粗動 2件
カテーテルアブレーション	心房細動 12件
永久ペースメーカー植込術	13件